

■ LiDARとプロジェクションマッピングによる掘削アタリ表示

【実施内容】 掘削のアタリ確認や建込位置の確認作業を作業員の目視に代え、「LiDARによる3D計測システム」によりあたりの範囲を計測し、その情報をマッピング表示した。

- 【効果】**
- ①切羽直下作業が削減され安全性が向上し、手戻りや余堀量の低減が期待できた。
 - ②アタリ確認に作業員が切羽へ8～10回入っていたが、最終確認の1～2回に低減された(約80%低減)。
 - ③掘削80mの間でアタリによる手戻りが4回程度あったが、マッピングにより手戻りがゼロとなった。

【必要スキル】 ①3次元CADの操作 ②点群データの取得・加工 ③プロジェクションマッピングの作成・投影技術

